NIE実践報告

1．タイトル：**プロに教わる新聞作り「新聞記者になろう！」**

2．学校名

広島県安芸高田市立美土里中学校

3．実践者名（代表者名）

村上恵崇

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　72人

6．単元（本時の学習課題）名

自分だけのオリジナル新聞を作ろう

7．目標（狙い）

新聞を作るために、読み手をひきつける新聞作りの具体的工夫を学び、それを自分の新聞のテーマに効果的に使用する力を伸ばす。

8．評価の視点

学んだ工夫を積極的に活動に生かし、かつ効果を考えて新聞作りに取り入れているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

1年「分かりやすく書こう」（教科書教材：東京書籍）15時間、2年「調べて発信しよう」（教科書教材：東京書籍）15時間、3年「主張を書こう」（教科書教材：東京書籍）15時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①元中国新聞社写真部長の紺野昇（こんののぼる）記者を講師として招き、新聞作りの工夫、特にテーマ設定から取材について学ぶ（2時間）
②指導していただいたことを生かし、身近な事象から各人でテーマを設定し、取材計画を立てる。（1時間）
③取材計画に基づき取材活動を行う。（4時間）
④取材した情報をテーマに即して取捨選択する（1時間）
⑤再度講師を招き、取材した情報を元に効果的な割り付けや記事の書き方について学ぶ（2時間）
⑥指導していただいたことを生かし、新聞作りを行う（4時間）
⑦学年ごとに発表会を行った後、全員の作品を中国新聞社みんなの新聞コンクールに応募する（1時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

身近なテーマからの新聞作りをご指導いただき、生徒の取材方法が実地のものに変化した。それが意欲につながった。（生徒の感想より）「やっぱり本物の新聞記者に指導していただいたことはすごかったし、役に立った。また来年新聞を作るときには今回のものよりもっと工夫を取り入れてすごい新聞を作りたい。」

12．成果と課題

（成果）特に生徒のテーマに即した情報選択能力と効果的な紙面構成能力、記事を書く力に成長が見られた。その成長が他の学習に波及し、無駄の無い適切な文章を書いたり、人の目をひき付ける効果的な構成を意識した学習が行えるようになってきた。成果の一端として、今年度の中国新聞社主催第7回みんなの新聞コンクールのジュニア新聞の部では、1名が広島県教育委員会賞を、4名が佳作を受賞した。
（課題）リテラシーの育成は満足できるレベルとしては比較的基礎学力の高い生徒に留まり、全生徒に十分にその力が身についているとは言いがたい。原因としては、低学力の生徒に対する配慮不足、そして取り組み